スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

福岡県小郡市

自 治 体 名 ： 福岡県小郡市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0942-73-9128

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	45.51㎢
人口	59,702人
公立中学校数	5校
公立中学校生徒数	1587人
部活動数 （運動部活動のみ）	44部活 （剣道：男女合同でカウント）
地域クラブ活動数	1クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

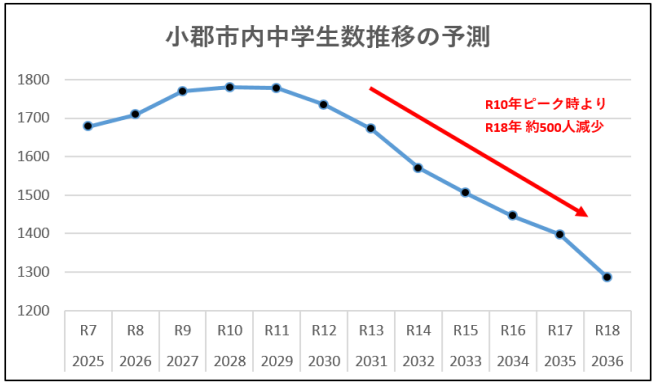
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

小郡市の現状

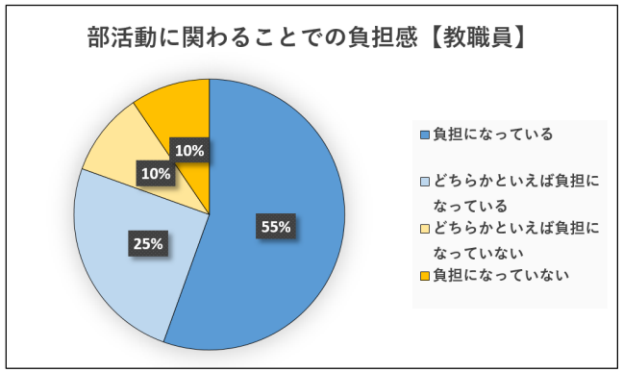
小郡市内の中学生の減少

平成26年度から平成30年度にかけ大幅に減少した後は、しばらく横ばい状況であった。しかし、令和10年度をピークに再び減少傾向になることが予測される。

現在、すでに人数が足りず単独校では存続できない部活動がある。今後の生徒数減少にともない、そのような部活動がさらに増えていくと思われる。

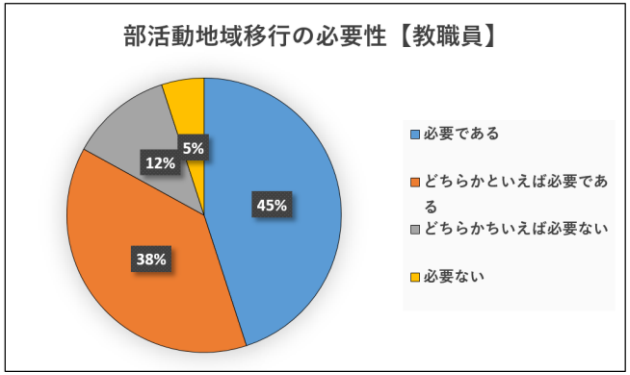


教職員・生徒・保護者へのアンケート① 回答率：教職員88.2%、生徒77.4%、保護者60.8%



８０%の教職員が負担感を感じている。

活動経験や指導経験がなく、生徒・保護者の期待に応えられないことに負担感を感じている教職員が多い。勤務時間外の活動であり、専門的に指導できる方に指導をお願いしたいと願っている。



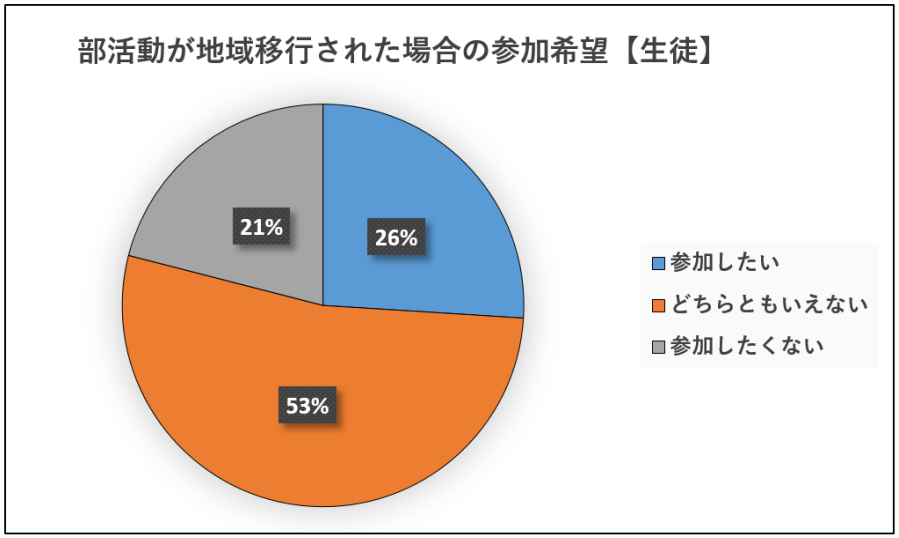
83%以上が、地域移行は必要だと感じている。

多くの教職員は、生徒数の減少による部活存続の危機感や授業づくりに時間を取りたい等の教職員個々の状況に対応するために地域移行は必要だと考えている。

1.自治体の基本情報

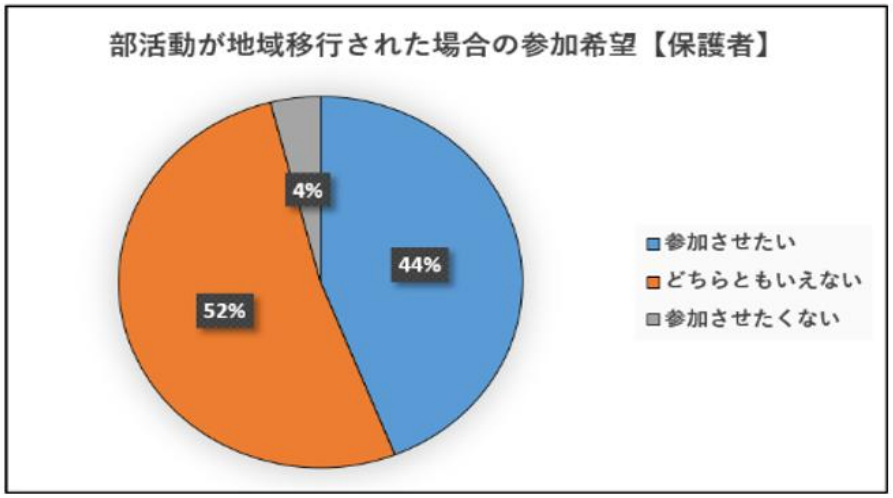
スポーツ庁

教職員･生徒･保護者へのアンケート①　回答率：教職員88.2%、生徒77.4%、保護者60.8%



半数以上の生徒・保護者が「どちらともいえない」。

《参加したい》
・専門的でより良い指導が受けたい。
・十分な練習時間、発表の場がほしい。
《どちらともいえない・参加したくない》
・今の部活動の良さがなくなるのではないか心配である。
・学校の方が気楽にできる。移動の時間がもったいない。

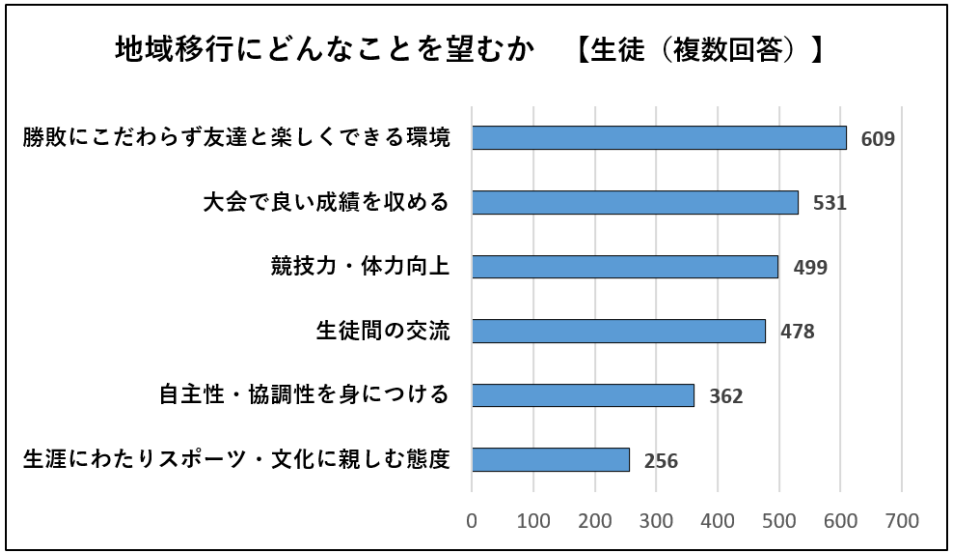


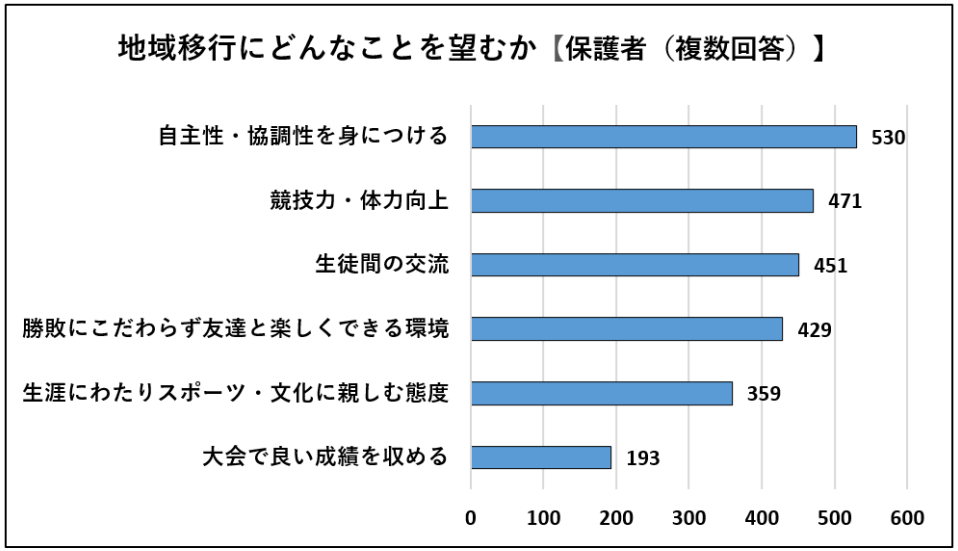
《参加させたい》
・部員数を心配しないでよくなる。
・他校の生徒との交流で、さらなる成長が期待できる。
《どちらともいえない・参加させたくない》
・金銭面、送迎等の負担が心配である。
・適切な指導者が確保できるのか心配である。

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

教職員･生徒･保護者へのアンケート①　回答率：教職員88.2%、生徒77.4%、保護者60.8%



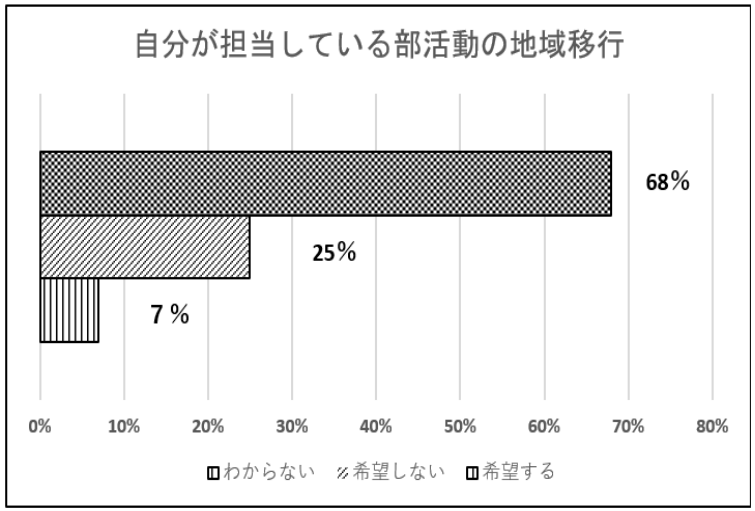


生徒は、「勝敗にこだわらず友達と楽しく活動したい」（エンジョイ志向）という生徒と「大会で良い成績を収めたい」（競技志向）という生徒が混在している。保護者は、「自主性・協調性を身につける」「競技力・体力向上」「生徒間の交流」「勝敗にこだわらず友達と楽しくできる環境」等を願っている。

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

教職員へのアンケート②　99名回答



（希望する理由）
- 指導技術がない　・部員の確保が困難　・家庭の事情等で対応できない
- 休養、プライベートの時間がほしい　・教師の業務でない
- 地域クラブの指導者として活動したい（※兼職兼業による指導を希望する教職員）

（希望しない理由）
- 合同チームでできるから　・学校教育の一環として必要
- 地域の指導者との連携が難しい　・自分で指導したい、やりがいがある
- 楽器等の保管が難しい　・金銭面での負担がある

《質問内容》
ア）所属する学校・氏名
イ）顧問をしている部活動
ウ）地域移行を希望する・希望しない理由
エ）校内で次年度部活動地域移行に取組んだ方が良いと思われる部活動はあるか。

小郡市の課題

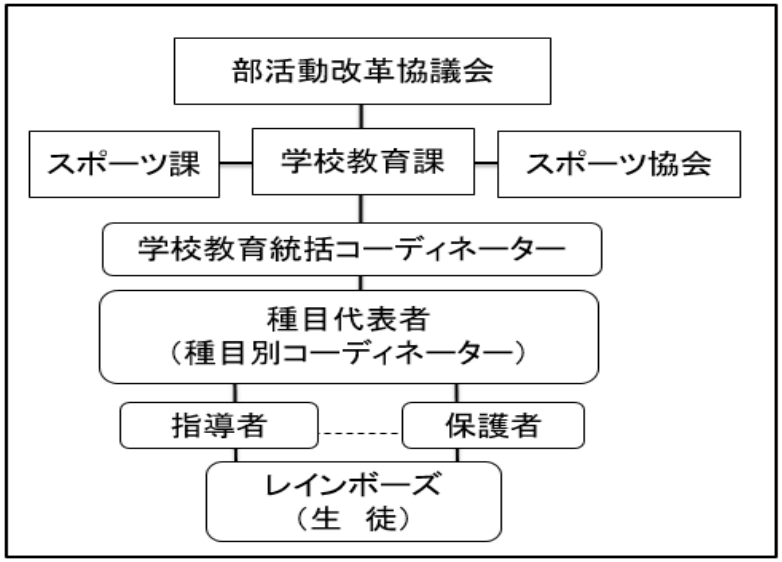
- 生徒の活動体制づくり…拠点校の設定、施設の確保・調整
- 指導者の指導体制づくり…指導者の確保（人材バンク作成）、配置の調整
- 管理・運営体制づくり…事務局の立ち上げ、運営資金の確保（受益者負担、公的支援）等
- 用具関係…用具の確保・保管場所
- 隣接する大刀洗町との広域連携

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

- 部活動改革推進協議会
  （中学校長代表、中学校部活動担当者代表、保護者代表、教育長、教育部長、教育委員会関係課職員、学校教育統括コーディネーター）
  →運営推進体制検討
- 学校教育統括コーディネーター
  →地域展開推進体制づくり、学校現場との連絡調整、スポーツ協会、スポーツ課との連絡調整
- 教育委員会（学校教育課）、スポーツ協会、スポーツ課
  →運営管理全般、指導者謝金・任意保険加入

年間の事業スケジュール

小郡市休日部活動地域展開ロードマップ「活動・指導体制づくり」（案）

令和7年度	令和8年度		令和9年度	令和10年度
新しい合同部活動（休日拠点校方式）			地域クラブ～	
8月～12月 ⇨	1月～3月 ⇨	4月～7月 ⇨	8月～3月 ⇨	4月～
計画期間	調整期間	試行期間	実施期間	課題修正期間	充実発展期間
①今後の見通し説明 ※学校部活動保護者会 ・取組内容 ・ロードマップ ②活動体制づくり ・拠点校 ・施設 ・指導者 ・用具 ・連絡 ・移動 等	③活動体制調整 ④指導者確認（合同部活動） 調整	⑤活動体制確認 ※PTA総会 部活動保護者会 生徒ミーティング ・目的、内容 ・見通し 等 ↓ ⑥随時活動開始	⑦合同部活動完全実施 ・課題整理 ⑧人材バンク作成（地域クラブ） ⑨指導者研修会 ⑩認定地域クラブ制度準備	⑪地域クラブ移行完了 ・課題修正	⑫地域クラブ完全実施 ・随時課題再検討 ＊平日地域展開の在り方（学社融合）について検討・協議
	1～2部拠点校方式	3～5部拠点校方式	全ての部拠点校方式	随時地域クラブ	全ての部地域クラブ
		種目別コーディネーター ⇢			

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		なし
全体の指導者数	7人	全体の運営スタッフ数	10人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
小郡レインボーズクラブ	地域スポーツクラブ	ソフトボール	・休日 4～5回/週	・半日（練習、練習試合） ・全日（大会等）	1年…11名 2年…10名 3年…7名	令和6年10月～	7人	7人	なし（実証事業補助金より運用）	地域クラブ（レインボーズ）として参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 野球・ソフトボール合同講習会（食育講習会、親子ノック）
- 活動見学、体験会

2.実証内容と成果

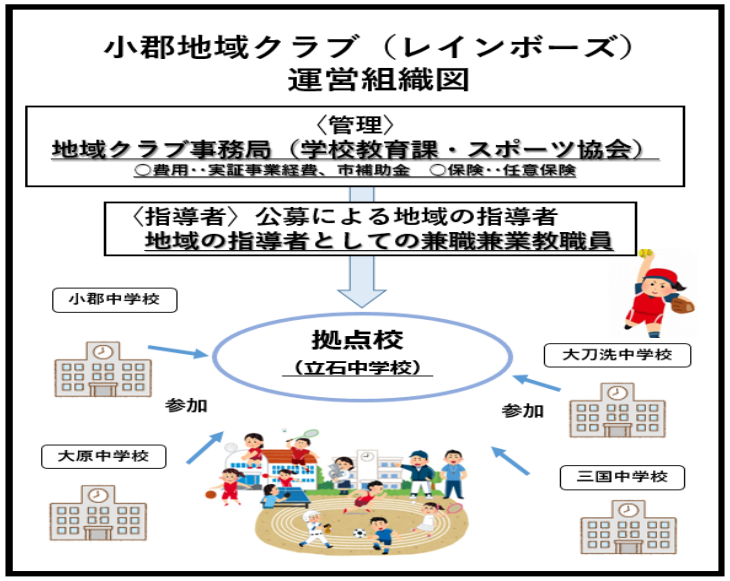
スポーツ庁

主な取組例

●レインボーズクラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施 した種目	ソフトボール
運営団体名	小郡地域スポーツクラブ
期間と日数	ソフトボール：月4～5回程度
指導者の主な属性	地域の指導者 （兼職兼業4名、その他3名）
活動場所	小郡市立立石中学校
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし（実証事業補助金より）
1人あたりの保険料	スポーツ安全協会 生徒1人あたり：800円／年 指導者1人あたり：1,850円／年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

・学校教育課…運営管理全般
・スポーツ協会…事務処理委託（謝金・保険等の管理）
・統括コーディネーター…地域展開推進体制づくり、学校現場との連絡調整
・主任指導者（指導者代表）
…①名簿作成、スポーツ協会・県中体連への登録申請
②選手登録費、部費等お金のやり取り
③用具・ユニフォームの管理 ④生徒出欠等の確認
⑤練習計画、練習試合の手配・調整 ⑥指導者のシフト作成・調整
⑦保護者への配車連絡 ⑧指導者に登録していない顧問との連絡・調整

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

【令和7年度】
3月～7月
- 兼職兼業希望者打合せ…学校教育課、各学校
- ヒアリング①…統括コーディネーター、各専門部代表者

8月～12月
- 今後の見通し説明…各学校職員会議、部活動保護者会
- 活動体制づくり…各部活動専門部
- 地域スポーツクラブ活動アドバイザー研修会（新潟県長岡市　石川智雄アドバイザー）…学校教育課、スポーツ課、スポーツ振興課
- ヒアリング②…統括コーディネーター、各専門部代表者
- 筑紫野市視察…学校教育課（教育長・部長・コーディネーター）
- 部活動管理アプリ導入の検討…学校教育課、地域クラブ保護者
- 各学校へキーボックス設置…学校教育課、各学校

1月～3月
- 活動体制調整…学校教育課、各部活動専門部
- 指導者確認…学校教育課、スポーツ協会
- 新入生説明会…各中学校新入生及び保護者

◎今後の予定
【令和8年度】
4月～7月
- 活動体制確認…各学校、PTA総会、部活動保護者会

8月～3月
- 拠点校合同部活動完全実施…各学校、各部活動専門部
- 人材バンク作成、指導者研修会…スポーツ協会
- 認定地域クラブ準備…学校教育課、各学校、各部活動専門部
- 種目部コーディネーター設置…学校教育課、各部活動専門部

【令和9年度】
- 地域クラブ随時移行…学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会、各学校、各部活動専門部

【令和10年度】
- 地域クラブ完全実施…学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会、各学校、各部活動専門部

取組の成果

- 令和7年度～10年度のロードマップを作成することができ、取組全体に見通しが持てるようになった。
- 学校職員、保護者への啓発を進めることができた。
- 事務局設置に向けてのモデルを作成することができた。
- 種目別コーディネーターを導入する方向で検討できた。

今後の取組における課題

①事務局の具体的設置
②人材バンクの作成、指導者研修会の実施
③認定地域クラブ設置に向けての準備
④運営資金の確保（公的資金、受益者負担）

課題への対応方針

①学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会による具体的な構想づくり
②スポーツ協会を主体とした指導者体制の確立
③学校教育課による条件整備
④市へ予算確保要請、受益者負担の考え方の周知

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 今後の見通しの提示、ロードマップの作成
- 市長、副市長、議員への構想説明
- 各学校職員への取組の周知
- 学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会との連絡調整
- 各専門委員会代表者へのヒアリング

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 地域クラブ活動の指導者や参加者（生徒、保護者）との連絡・調整
- コミュニケーションアプリ等の活用（生徒出欠、活動計画・ 実施報告）
- 各学校へのキーボックスの設置
- 種目コーディネーターの設置

事務局立ち上げに向けた取組

- 地域スポーツクラブアドバイザーによる研修会開催
- 学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会による協議、体制モデルの検討

活動体制、指導体制づくり

- 新しい合同部活動（休日拠点校方式）による生徒の活動体制、指導者の指導体制の確立

イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 地域への公募
- 教職員兼職兼業者の公募（市内小中学校、近隣の特別支援学校）
- 指導者研修会の実施計画作成
- スポーツ協会人材バンクの活用

取組の成果

- 各競技ごとに地域の指導者の概数を把握することができた。

今後の取組における課題

- 人材発掘及び人材バンクの作成
- 指導者マニュアルづくり
- 指導者研修会の実施

課題への対応方針

- 今後は、スポーツ協会を主体とした人材バンクの管理及び福岡県主催の指導者研修会への参加も含めた指導者研修の実施体制を確立する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 学校教育課、スポーツ課、スポーツ協会中心とした、諸機関との連携。

取組の成果

- 学校（教職員・生徒・保護者）・学校教育課・スポーツ課・スポーツ協会・中体連と連携し、活動体制・指導体制づくりを進めることができた。

今後の取組における課題

- 大刀洗町との広域連携を含めた事務局を設置し、関係諸機関との連携・調整を進める。
- 指定管理方式の導入（民間指定管理者への委託）
- 生涯学習課（第3の学び場）との連携によるリーダーバンクの構築
- 市内各スポーツ少年団との連携

Ｒ７・８年度　地域移行推進に向けた関係機関との連携

関係諸機関	R7～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R8 1月	2月	3月
学校　他	・新入生説明会（中）	・P総会 ・部活編成（中）			・保護者会（小）						・新入生説明会（中）		
					学校行事、職員会議、保護者会説明等								
学校教育課・スポーツ振興課・スポーツ協会		第１回		第２回		第３回		第４回		第５回		第６回	
			行政による事務局体制づくり、人材バンク作成等										
指導者研修会（兼職兼業・部活動指導員等）	第１回				第２回			第３回			第４回		
		指導希望者による指導体制づくり　※必要に応じ部活動ごとに随時											
中体連	理事会①					専門委員会①			理事会②				専門委員会②
					各専門部における運営体制づくり								
各部活動顧問（ヒアリング）			剣道・野球		バレーボール・バスケットボール・卓球		サッカー・ソフトテニス・吹奏楽						
			各専門部における取組の確認　※必要に応じ随時										

連携

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

- 各学校へのスマートキーボックスの設置

取組の成果

- 学校を解錠せずに施設・用具の管理ができるようになった。

今後の取組における課題

- 地域クラブ専用の用具の確保
- 用具等の保管場所の確保

課題への対応方針

- 当面は、部活動で使用していた用具を使用する。
- 保管場所については、各学校の部室等を使用する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- 新しい合同部活動（休日拠点校方式）の取組を通して、地域クラブとしての活動体制・指導体制を整えようとした。一定の成果を上げることができたものの、専門（競技）によっては指導者が確保できない状況が明らかになってきた。今後は、兼職兼業に頼らない人材確保が必要である。
- 大刀洗町との広域連携も含めた事務局設置が大きな課題である。ある程度の見通しを持つことができるようになったが、さらに大刀洗町、学校教育課・スポーツ課・スポーツ協会と協議を重ね、より具体的な体制を確立する必要がある。
- 種目別のコーディネーターを設置する方向で検討している。そのための予算と適切な人材の確保が必要である。

●成果の評価

- 取組の現状について、学校現場をはじめとする関係諸機関と協議することができた。
- 新しい合同部活動（休日拠点校方式）により、生徒の活動体制、指導者の指導体制の基盤をつくることができた。
- ロードマップを作成し、中長期的な見通しを持つことができた。
- 事務局体制のモデルを作成することができた。

●今後に向けて

- 「認定地域クラブ」制導入に向けた準備が必要である。
- 人材バンクを作成する。
- 令和9年度からの「地域クラブ」への展開を見据え、諸課題解決のためのさらなる検討が必要である。

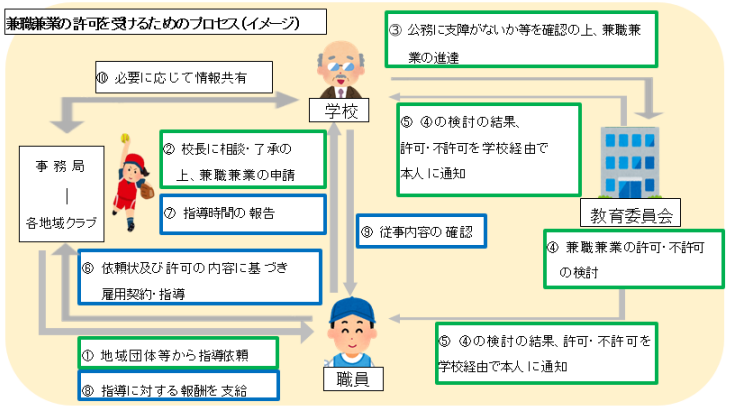
2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料

職員の皆様へ　地域クラブ活動で指導を行うには兼職兼業の許可が必要です！

令和5年3月に策定された「福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン」をもとに、令和5年度から段階的に市町村立学校の部活動の地域移行が開始されています。
これにより、勤務時間内外に地域団体等から報酬を得て地域クラブで指導を行う場合は、**営利企業への従事等許可や教育に関する兼職等承認（いわゆる「兼職兼業の許可」）が必要**となりますので、地域団体等から指導の依頼があって、地域クラブ活動での指導を希望する場合は、速やかに校長に相談・了解を得た上で適切に申請を行ってください。



許可の基準

兼職兼業の許可は申請の内容が本務である学校での職務遂行に支障を生じず、かつ教員の職の信用を傷つけたり信頼に悪影響を与えるものでない場合に許可されます。
また、職員の心身の健康の確保のため、時間外在校等時間と地域クラブ活動での指導時間の合計が月80時間を超えることが見込まれる場合は、兼職兼業は認められません。
さらに、兼職兼業の許可は、原則、学校休業日（週休日、休日）、勤務時間外とします。
【許可が認められない例】☆地域団体から社会通念上適当とはいえない高額な報酬をもらう。
☆地域クラブに児童生徒を勧誘して、見返りに謝礼をもらう。等

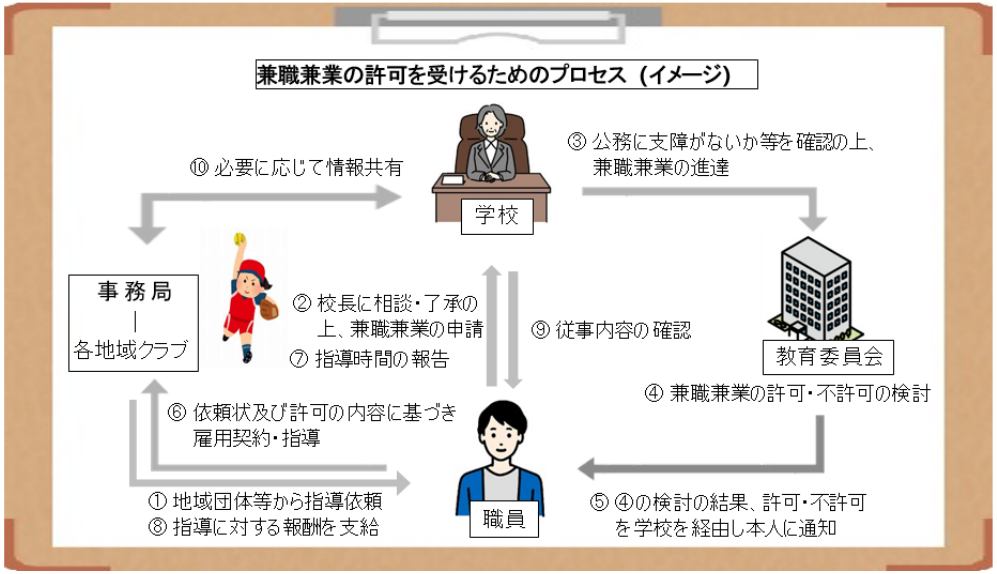
労働時間の報告

地域クラブ活動で指導する時間は学校教育活動に当たらないため、たとえ学校の施設を利用していたとしても時間外在校等時間には含まれません。
なお、地域クラブ活動は時間外在校等時間には含まれませんが、職員の心身の健康確保のために校長において地域クラブ活動での指導時間を把握する必要があります。このため、所定の様式により、毎月校長に地域クラブ活動での指導時間を報告し、時間外在校等時間と地域クラブ活動での指導時間の合計が月80時間を超える場合は、翌月以降の時間外勤務や地域クラブ活動での従事時間の縮減について校長と話し合ってください。
（翌月以降も改善されない場合は許可が取り消されることがあります）。

【兼職兼業啓発】

地域クラブ活動で指導を行うには兼職兼業の許可が必要です！

令和5年3月に策定された「福岡県における地域クラブ活動の構築に向けたガイドライン」をもとに、令和5年度から段階的に市町村立学校の部活動の地域移行が開始されています。
これにより、勤務時間内外に地域団体等から報酬を得て地域クラブで指導を行う場合は、**営利企業への従事等許可や教育に関する兼職等承認（いわゆる「兼職兼業の許可」）が必要**となりますので、地域団体等から指導の依頼があって、地域クラブ活動での指導を希望する場合は、速やかに校長に相談・了解を得た上で適切に申請を行ってください。



2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料

【兼職兼業啓発】

地域クラブの指導員に登録しませんか？（案）

小郡市では、国・県の動向を踏まえ、令和6年度から段階的に部活動の地域移行を行っています。そこで、土日の部活動の受け皿となる地域クラブの指導員を募集します。

●募集内容●

職務内容	該当種目の指導、大会引率　等
【参考：現在の種目】	令和6年度～　女子ソフトボール部　他未定 ※上記以外の種目についても登録可能です。 他種目については、部活動から移行次第、登録者からお声がけします。
勤務時間	原則、毎週土・日のうち1日以上、1日3時間程度 ※大会引率時は別途相談
勤務場所	主な勤務場所は、小郡市立中学校グラウンド（予定）
報酬	時給 1,600 円　他、費用弁償として1日 100 円支給 翌月〇日に指定口座へ振込
必要な資格	次の要件のいずれかを満たす人 ①該当種目の経験がある人 ②該当種目の指導経験がある人 ③勤務場所に自力で集合できる人
登録期間	原則1年度ごとに登録
その他	・登録いただいた内容については、任用先である（一社）小郡スポーツ協会に提供します。 ・この登録は、指導員を任用する上で、あらかじめ登録するものです。必要が生じた場合、登録者の中から、業務の条件に合う方を任用しますので、登録後すぐに任用されるとは限りません。あらかじめご了承ください ・別途スポーツ保険加入
登録方法	下記 URL、または二次元コードから申し込み　二次元コード

【兼職兼業注意点】

地域クラブで活動するときの注意点

●指導中に急遽、教員としての業務が発生した場合

地域団体等と雇用契約を交わし、地域クラブ活動で指導をする際は、教員ではなく地域団体等の指導者となります。そのため、教員としての指導と地域団体等の指導者としての指導は明確に区別され、指導の際は地域団体の指揮命令に従う必要がありますが、兼職兼業の許可は教員の本務に支障がない場合に認められているため、もし地域クラブ活動で指導中に急遽教員としての勤務が必要となった場合は、教員として勤務する必要があります。

☆指導中に事故が発生した場合

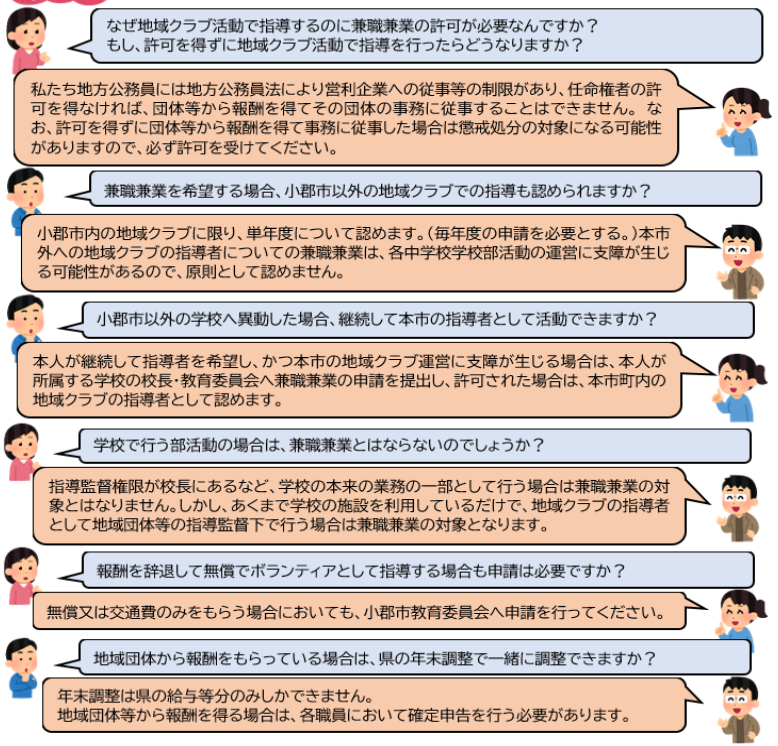
地域クラブ活動で指導中に事故が発生した場合は、学校ではなく地域団体等が責任を負うこととなります。場合によっては、地域団体等の指導者として教員本人にも責任が発生する可能性がありますので、十分注意してください。また、勤務時間外でも信用失墜行為の禁止など地方公務員として遵守しなければならない事柄には、当然従う必要があります。

なお、教員本人に事故があった場合は、地域クラブ活動は学校の管理下にないためスポーツ振興センターの災害給付や公務災害等の保障の対象とはなりません。そのため、別途保険に加入する必要があります。（小郡市の地域クラブでは、取りまとめて加入手続きを行います）

☆その他

・地域団体等の業務に従事するにあたっては、生徒等の個人情報の取扱いに留意する必要があります。
・地域団体等から報酬等の支給を受けた場合、必要に応じて確定申告等の手続きを適切に行ってください。

Q&A



2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料









【レインボーズ活動の様子】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料



【地域スポーツクラブ活動アドバイザー研修会
（新潟県長岡市　石川智雄アドバイザー）】



【地域クラブ　レインボーズ　募集チラシ】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料



【キーボックスの設置】





【部活動アプリの導入】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

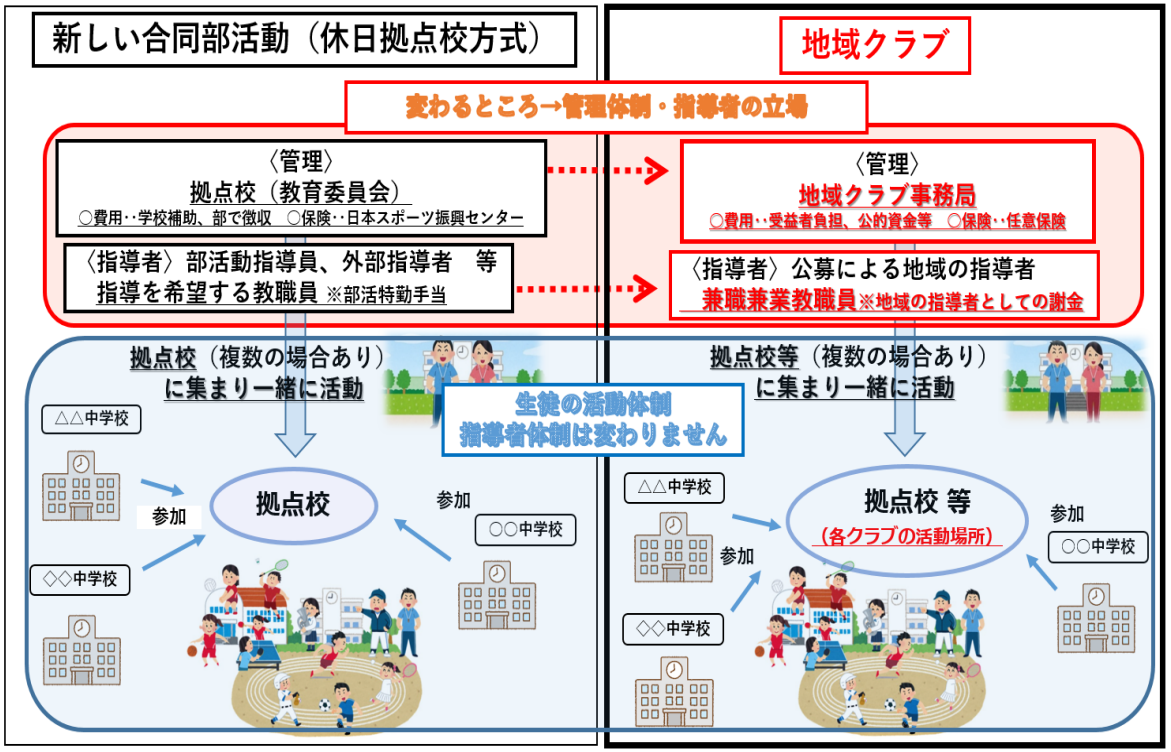
地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年～
協議会設置、検討開始	校長会、学校中体連との調整	学校、生徒保護者への説明	新しい合同部活動（休日拠点校方式）取組開始	新しい合同部活動（休日拠点校方式）展開	地域クラブ活動展開

【学校教育課・学校・中体連・生徒・保護者との合意】

実施手順	専門部（コーディネーター）	①学校教育課・事務局 ②学校（校長）・中体連（情報共有・連携）	③保護者 ④生徒	⑤地域クラブ活動（R7合同部活動）
内容	【専門委員会】 ○活動方針、内容検討 ・チーム編成 ・指導者・活動場所 ・用具管理・連絡体制 ・スケジュール ・大会参加　等	【運営事務局会】 ○運営管理 【職員会議・理事会】 ○活動方針、内容確認 ⑥課題検討	【保護者会】 【部活動（ミーティング）】 ○地域クラブの概要、活動内容説明 ・目的 ・活動内容、見通し ・参加、協力体制づくり	【練習・試合】 ○課題の整理 専門部・統括コーディネーター・運営事務局で再検討

【拠点校合同部活動から地域クラブへの移行に係る関係機関の合意】



3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

小郡市休日部活動地域展開ロードマップ（案）

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	新しい合同部活動（休日拠点校方式） → 地域クラブへ展開		地域クラブ移行完了	地域クラブ完全実施
	体制づくり期間 ・運営体制 ・活動体制 ・指導体制 ・市の支援体制		体制上の課題修正	地域クラブ（休日）完全実施
指導者	①新しい合同部活動 人材バンク作成　研修会 〈新しい合同部活動（休日拠点校方式）〉 指導を希望する教職員・部活動指導員		②地域クラブ 人材バンク作成 〈地域クラブ〉 兼職兼業教職員・地域の指導者	兼職兼業教職員 地域の指導者
市による支援体制	部活動 コーディネーター配置 〇ソフトボール・野球・ソフトテニス・サッカー・バスケットボール バレーボール・ 卓球・剣道		部活動 コーディネーター	
活動環境	拠点とする学校・施設整備、キーボックス設置、用具の確保 等		施設・用具管理	
情報発信	学校説明　HP・リーフレット①　HP・リーフレット② 保護者説明（学校行事・部活動保護者会・地域クラブ生徒募集）		HP・リーフレット③	HP・リーフレット 地域クラブ保護者会
事務局	運営組織づくり、規則・文書様式作成 等 人材確保・事務環境整備（PC・管理ソフト等）		地域クラブ運営事務局	
資金（運営）	実証事業補助金・市補助金		市補助金等 公的資金	
（謝金）《保険》	新しい合同部活動（教職員特勤・部活動指導員手当） 《日本スポーツ振興センター保険》		地域クラブ（謝金）《任意保険》 ※受益者負担	
部活動の展開	地域クラブ（ソフトボール） 新しい合同部活動（休日拠点校方式） 拠点1：剣道・バスケ・バレー →拠点2～3：野球・テニス・サッカー・卓球・吹奏楽 他		地域クラブ ＊随時	全地域クラブ

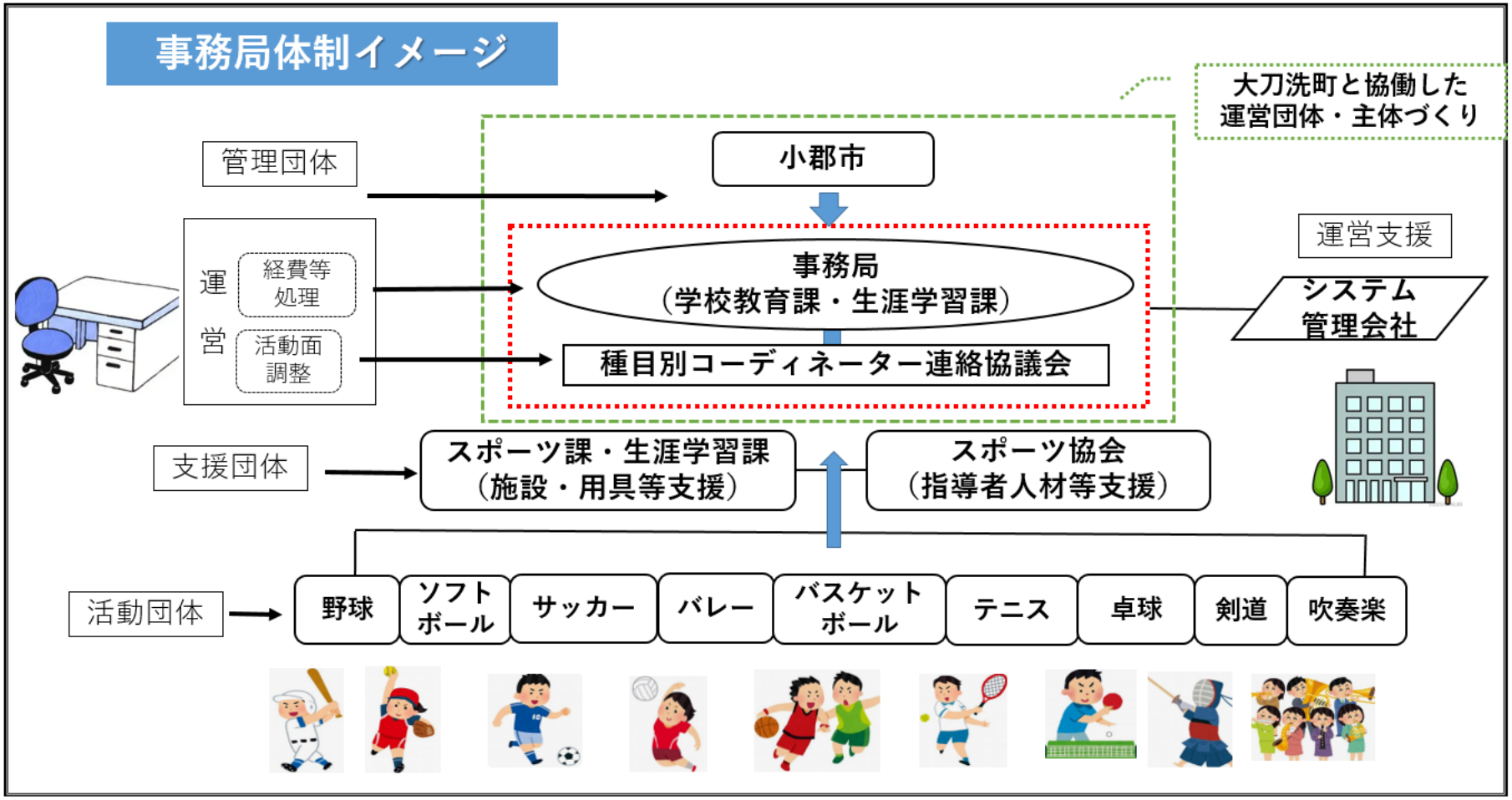
※ 国の動向：令和5年～7年…改革推進期間　令和8年～10年…改革実行期間（前期）　令和11年～13年…改革実行期間（後期）

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた事務局の立ち上げ

事務局体制イメージ



3.今後の方向性

スポーツ庁

種目別コーディネーターの配置

種目別コーディネーター

①名簿作成、協会・県中体連への登録申請

②選手登録費、部費などお金のやり取り

③用具・ユニフォームの管理

④生徒出欠等の確認

⑤練習計画、練習試合の手配・調整

⑥指導者のシフト作成・調整

⑦保護者への配車連絡

⑧指導者に登録していない顧問との連絡・調整

